

あなたの代わりに
トライアル!

展示圃優良事例紹介

「ポテトール®」を、使ったら。

サンプリンググループでは、さまざまな作物に対し、薬剤や技術の試験活動を行っています。
今回は、前号に引き続き液体微量要素複合肥料「ポテトール®」の試験結果をお伝えします。

使用した製品

いま話題のバイオスティミュラント
植物由来の光合成促進成分で収量アップ!

ポテトール®

OATアグリオ株式会社



**増収・環境ストレスの軽減・品質向上の
3拍子そろった期待の肥料**

ポテトールに配合された植物由来の光合成促進成分には、作物の気孔開度の調節作用があります。気孔を流れる気体量が、無処理時と比較して約10パーセントアップすることから、二酸化炭素の流入が高まり光合成が促進されます。鹿児島県で行われたばれいしょの試験事例では、ポテトール処理区の光合成速度が9〜22パーセント向上しました。さらに、ポテトールに含有されているトレハロースは、環境ストレスの軽減に効果を示しました。また、苦土・有機酸カルシウム・ホウ素各種微量要素は、収穫物の品質向上に効果を発揮することが期待されます。バイオスティミュラントであるポテトールは、非生物的ストレスによる作物への影響に強く、作物の健やかな生長を促してくれる注目の製品です。使用の際は、7〜14日間隔で複数回散布することを推奨します。ばれいしょでは、着蕾期から落花期（塊茎形成期〜塊茎肥大期）に7〜10日間隔で3回、疫病防除時の施用がおすすめです。

■ ポテトールの成分組成

保証成分(%)			配合成分(%)					その他
水溶性マンガン	水溶性ホウ素	水溶性苦土	カルシウム	鉄	銅	亜鉛		
0.2	0.5	2.0	2.75	0.2	0.05	0.2	・植物由来成分 ・トレハロース	

■ 使用方法

作物	使用時期	目的と効果	希釈倍率	水量(10a)	使用方法
ばれいしょ	塊茎肥大期(着蕾期〜落花期)	光合成促進による増収	1000倍	100〜300L	葉面散布
かんしょ	収穫60〜30日前		500倍	100〜200L	

・7〜14日間隔での複数回散布を推奨します。
・ばれいしょでは、着蕾期から落花期(塊茎形成期〜塊茎肥大期)に7日〜10日間隔で3回、疫病防除時の施用をおすすめしております。

2021年後志管内での試験

■ 試験内容

後志管内の生産者圃場で実施。ポテトールを1000倍に希釈し、2021年6月23日、6月28日、7月4日の3回、疫病防除時に施用した。収量調査は、施用区、無施用区から10株を3カ所から掘り取り、比較した。

● 調査日…2021年8月24日 ● 品種…男爵薯

2021年の試験について

2021年は7月からの降水量が少なく、著しい干ばつ条件での試験でした。ばれいしょの塊茎肥大には不利な条件の中、合計30株の塊茎を比較。その結果、ポテトール施用区では収量が約55%増加しました。また、ポテトール施用区は2L、Lの比率が高く、平均1個重が23%増加しました。極端な干ばつだったため、圃場内での生育にばらつきが大きく、サンプルが偏った可能性もありますが、一定の増収効果はあったと考えられます。

Let's TRY!

ポテトール® 現地レポート

2022年 試験内容

後志、十勝、胆振管内の生産者圃場に加え、自社圃場でも試験を実施。各所ともポテトールを3回処理し、処理区と無処理区の3カ所から10株ずつ、合計30株の塊茎を比較しました。

● 品種…男爵薯、メークイン

処理区は
L規格が多い



十勝管内(No.3)の塊茎調査

試験No	場所	品種	調査株数	ポテトール処理日
1	後志管内	男爵薯	30株	7/9、7/15、7/22
2	自社圃場	男爵薯	30株	7/2、7/9、7/21
3	十勝管内	メークイン	30株	6/22、6/28、7/6
4	十勝管内	メークイン	30株	6/22、7/2、7/8
5	胆振管内	男爵薯	30株	7/2、7/9、7/15

■ 試験結果

少ないサンプル数での比較ですが、試験を行った5カ所のうち3カ所の処理区で規格内収量が多くなりました。昨年に続き、ポテトール使用による増収効果が認められたといえます。試験No.5では規格内収量は少なくなりましたが、その要因は掘り取りした区画の収量のばらつきや、土壌条件、個体差などの影響が大きいと考えています。

試験NO	区/10株	規格内収量/10株(単位g)	標準偏差	規格内収量平均(単位g)	規格内収量処理区/無処理区(%)	塊茎数処理区/無処理区(%)	備考
1、後志管内	処理区①	11,291	314	10,944	109.7	111	処理区の規格内収量が9.7%多くなった。
	処理区②	10,859					
	処理区③	10,681					
	無処理区①	8,500					
	無処理区②	10,604					
2、自社圃場	無処理区③	10,824	1,283	9,976	115.3	107	処理区の規格内収量が15.3%多くなった。
	処理区①	8,609					
	処理区②	10,376					
	処理区③	8,384					
	無処理区①	7,204					
3、十勝管内	無処理区②	7,868	734	7,914	111.0	103	処理区の規格内収量が11%多くなった。
	無処理区③	8,669					
	処理区①	10,685					
	処理区②	10,791					
	処理区③	10,936					
4、十勝管内	無処理区①	9,084	782	9,735	96.7	101	処理区の規格内収量が3.3%少なくなった。
	無処理区②	10,603					
	無処理区③	9,518					
	処理区①	11,480					
	処理区②	13,158					
5、胆振管内	処理区③	12,762	685	12,890	96.0	94	処理区の規格内収量が4%少なくなった。区間のばらつきが大き過ぎた。試験圃場は傾斜地で、土壌条件などの誤差が大きく効果を比較しづらい結果。
	無処理区①	12,479					
	無処理区②	12,510					
	無処理区③	13,681					
	処理区①	6,567					
5、胆振管内	処理区②	9,159	1,342	8,064	96.0	94	処理区の規格内収量が4%少なくなった。区間のばらつきが大き過ぎた。試験圃場は傾斜地で、土壌条件などの誤差が大きく効果を比較しづらい結果。
	処理区③	8,465					
	無処理区①	8,755					
	無処理区②	6,917					
	無処理区③	9,533					

本商品についてのお問い合わせ先

株式会社サン格林太陽園 農薬肥料グループ

TEL 011-892-6281